

イギリス文学・文化講義 c

イギリスの舞台芸術（演劇とパフォーマンスを中心に）

担当講師: 金田迪子 学期: 前期

授業のテーマ

ゲームのムービーや、アイドルのライブの演出で感動し、涙を流したことはありますか。それらのエンターテインメントの祖先の一つが演劇やパフォーマンスです。それはかつて、CG モデルが演技をしたり、映像を再生したりする技術のなかった時代の名残りですが、絵画やクラシック音楽のように、人とは少し違った教養で差をつけられるかもしれません。この講義では、特に演劇のメッカであるイギリスについて、あまり日本では知られていない歴史に詳しくなりましょう。

授業における到達目標

日本とは異なる歴史を持つイギリスの舞台芸術について学ぶことによって、文化の多様性に触れ、国際的視野を養います。また、さまざまなジャンルの舞台芸術のについての知識を深め、美の探究を行います。

授業の内容

- 第1回 授業への参加方法
- 第2回 ページェント
- 第3回 シェイクスピア劇
- 第4回 レストレード劇場
- 第5回 ヴィクトリア朝劇場
- 第6回 モダン劇場
- 第7回 ポストモダン劇場
- 第8回 パフォーマンスアート
- 第9回 ダンス
- 第10回 ミュージカル
- 第11回 オペラ
- 第12回 バレエ
- 第13回 パントマイム
- 第14回 まとめ（定期試験対策）

事前・事後学習

この授業はオンデマンド形式の講義授業ですが、単位の修得のためには時間外学習が必要です。以下を本授業の時間外学習として課します。

- 手元に研究ノートを用意する（Notion などがおすすめ）。
- 次の授業の概要を確認し、PDF を手元に用意する。気になることをノートに書く。特に自分にとって関心のある内容の回は、PDF の内容に目を通してメモをとっておく。
- 授業を受けた後、ノートを見直す。期末試験の要点などを、ノートを加筆する。

定期試験

実施

成績評価の方法・基準とフィードバック

- 平常点（レスポンスペーパー） 50 %
- 期末試験 50 %

教科書・教材等

manaba 上で PDF を配布します。

参考書

manaba 上で主要参考文献を提示します。

授業に活かす実務経験

なし

アクティブラーニング

実施しない

その他

特記事項なし